文句頂林集 ヰ

中村俊定文庫
文庫 18
678
1

序ことゝ雪むに見よ意――て学式とまをを
拙部ろ以つこと式形うろ云ことろ試より
うんまるふ〜こと拾撰蒐のうちを
絳り偽る

寛政六甲寅之夏　案文

序ノ一

序

河海ハ細流を以て大なるなり原
きたれなこと竹帛を志を深きも
況〜ものふ〜ハ四方よ深るふ意家
苦心苦ことも名指ハ集ろ〜一冊ろ集ね

[illegible]つきて俳諧発句題林集とふ書を亦生ぜり
志幸[illegible]
[illegible]
[illegible]

湖東　[illegible]

宮城県図書館

俳諧発句題林集春之部

南更園
東蓋輯

正月

睦月

むりきてふはつるまたかき橋の　宗因
[illegible]月　梅盛

初空

[illegible]　維舟
初空[illegible]波　師坡
[illegible]　十牛
初空や月もどろにさくら　大夢

中村俊定文庫

初春や去年の仏の姿なき　稚人

初旦

大旦　苔吹き〳〵松の風　鬼貫

野〳〵富や去年見ハいつなく春　非什

月し如

何きなれやそ春よこゝろ乃如　曙春

そ彩やそ木草ふあまるり如　冷徳

ふる〳〵祝の大和よもし日ゝ〳〵め　晴美

初雑

よき事ハ年かま姿〳〵初八春〳〵　定武

鶯ハ春ハ春ハ日ふる朝ふ春　結雪

ふり鶯や又市ふ春ふ甲斐一ツ　英左

今年の春　明乃春

古ふ春ハむふ山ふ春ふ乃春　ふ角

星稜ふ今ふ春ふ今年の春　末山

祝日ふ年日の春ふ春ふ春ふ春　樗良

祝ふ春ふ春ふ松乃葉ふ春ふ春の春　梅舌

ふ春ふ春ふ春ふ春ふ春ふ春乃春　大夢

初春　立春　四方し春

花乃春何もなれなれ何もあ春　素堂

四方の春未だ夜の明けぬまゝぞよき　和及

眺代ならく空も四方の春　大祇

春たつや水柱乃拝殿のもり　帝周

早々しく霞めき見の四方乃色　呑霰

御代の春　君が春　我し春

神の春楠も常葉となりにけり　曉雲

名も高き林女学ぶ御代の春　宋阿

薦垂まくもう人作りめかけの春　月居

住よしや苔にせん松乃春　暮雨

見ぬ人は先私乃や君が春　宋文

天地や君のため上す春の色　樗良

元日　元朝　初日

元日も旅人となる大路かな　治徳

元日や鶯の昔この何しろき　言水

元日やされば野川の水の音　来山

元日の居ながらや世はまかりなき　大祇

元日や此くらし世はみつからし　宋文

元日やきのふに遠き朝ぼらけ　福竹

色なれもなかりし春の朝明かな　葉女

浦の春そるも飛鳥明けまさる　涼帘

きりとも玄蕃ゝ〜ぬきて初り新　太祇
接一ワ奏めりを行〜江戸乃春　玄角

正月

正ゝとも二ゝりゝとも人古〜　宗定
正ゝりゝと彩り物ゝ少歳人　樗良

四方拜　星佛

四方あ下御の春ハ春ゝ哉　和及
春しきゝ神と佛よ四方拜　任口
春ふゝまゝと玄関ゝせと星佛　玄虎

雑餅

ゝゝくゝん蕨やゝりゝふゝみ餅　野水
そひ出りゝ和人ゝとかゝゝゝち　言水
ゝき車ゝゝや玄ゝみゝち　梅竹
後もち母ゝゝゝ式父悪〜　曉雲
ゝゝ戸や餅屋ゝ梅ふゝゝもち　春義

墨衣

墨屋ゝやとハツひさ〜てゝ悲　言水
ゝゝゝ姫ゝくゝゝゝ笑ゝ　仙蓬

墨染　楪葉　親子草

墨染の葉ゝ尺ゝ包尾の朝乃夏　耕雪

山茶花の花の籠の部　重之
うゝ志ほるもゝちるゝ神の言の葉　胡及
ゆつり葉乃宴も紅さゝ久旦うゝ　萱女
ゆりのもゝ祖父三代乃門うゝ　矢好

椿酒　桃酒

椿相酒　桃酒
つゝ志ちるゝハ千年乃葉ゝ志ゝ帝ゝ久酒　改次
千年乃葉ゝ志ゝ帝ゝ久酒　宗阿

御薬玉　菖蒲　茅子　屠蘇
ゆゝ敷ゝ乃と清き流ゝ乃茅う乃部　重敏
茅ゝ乃ゝ初ゝ乃ゝ部　如矢

屠蘇ゝ酒きて矣部ゝとゝ乃ゝ如ゝ　賦霍子

元日節　氷様　暖赤

友別乃ゝ部ゝ乃ゝ部ゝ乃ゝ部ゝ乃ゝ部ゝ乃ゝ部ゝ　文峰
ゝ志ゝ乃ゝ部ゝ乃ゝ部ゝ乃ゝ部ゝ乃ゝ部ゝ乃ゝ部ゝ　知石
ゝ乃ゝ部ゝ乃ゝ部ゝ乃ゝ部ゝ乃ゝ部ゝ乃ゝ部ゝ　政信

國栖し美　玉栖笛

玉栖ゝ志ゝ春ゝ乃ゝ急ゝ き矣部ゝ乃ゝ部ゝ乃ゝ部ゝ　千春
國栖人乃姿ゝ乃ゝ部ゝ乃ゝ部ゝ乃ゝ部ゝ乃ゝ部ゝ乃ゝ部ゝ　篇子
山樵乃伊陪ゝ乃ゝ部ゝ乃ゝ部ゝ乃ゝ部ゝ乃ゝ部ゝ乃ゝ部ゝ　鞭石
ゝ乃ゝ部ゝ乃ゝ部ゝ乃ゝ部ゝ乃ゝ部ゝ乃ゝ部ゝ　宋阿

祇園御神輿

あらたなの実をとるやきりをうき　赤潭
ひくまつ火をちらすやふりかき　竹亭
きりをうけ蒸気薫る彩雲　立笠

年徳神　差拙子

紫年もゐ給ふ千代の神　二日坊
世乃紫やあやめ舞ふ千代の拙子　山樟

毘沙門功徳

毘沙門やあてハ富士ふく絵　象立

恵方棚　門ふ神棚

紙ふり結乃結ふ千代乃やあ恵方棚　蓑雄

いちきをきやあ門乃神の手　政伝

門ふ松　松飾　飾弁

蓑角きく松一茎乃あ一たゐ　稲竹

松ふ二日八琴ふ松ふ色ふ　童次

切金ふ松をふ色ふ竹　千角

虫ふ虫ふ虫ふ虫ふ飾弁　蓮彩

永きさ口乃影やさ色ふ松ふ　梅女

飾縄　ふ色ふ茎　飾屋

あふ結ふ茎の姿やふ縄　乙也

鞴まつりや菴に冬のちよ唯一つ　雲皷

あさぼのゝ島に似たるかざり哉　二日坊

掛鯛　かざりの海老

うけ鯛も尾鰭のそるも葉細工　竹亭

老の寿や松をうき沈ふかざり海老　貞佐

海老は猶つゝ伊勢の神わや門かざり　白砧

栢かち栗　大福

蓋まても栗かちきむうしかな　和及

大福乃涼きめくるや井戸茶碗　西武

まてうまく大福以てる小茶かな　羅人

雑煮　若餅

人も来ぬ雑煮子かけ被着かな　言水

飯くらし家もわかれぬ雑煮かな　杏祇

三椀乃雑煮の申ふや老もふり　蕪村

形見着る白ひ糸なるさゝにかな　希因

若餅やふくもいたるふ老の春　野梅

皇足餅　いたゞのこと

家にありて春はきにたる皇足餅　鬼貫

いらひ笞のかしらこえきうりもかなゝ　二日坊

蓬莱ふきくて

蓬莱や三壺七山の名残哉　千春
ほうらいの山や春ハ霞れきりの人　言水
蓬莱や鶴ハ山より出る　素山
家々ハ皆蓬莱作る春の海　沾徳
蓬莱乃松ハ春ハ霞れる　移竹
ほうらいとうてたくれ一月哉　紗柳

食つゝ

食つゝも法ハよはるを一人仮　素丸
春ハ来くらひつゝ霞ぎ　五瓶

右発句

如ける神代のきりの春　掌雄
右発句　二句

敷石
嘯山
竹之

ふるゝやうに敷石　嘯山
ふるひいるゝ竹之

幸懐旧

りれ思ハ小ゝるやうに　梅盛
二親乃いるゝ義れる寿白ず　安静

田造　小賀

田つくるや白いなびつゝ豆れ中　史葉
海老ぬれ元を編ふてゝ　言水

穂俵　椎　　晴栗

ほうこうや淀杉ごとの長生き　佐德
神うの葉ゝ伊ゝ咲つき夢ゝ百　稲竹
大つ夏乃ゝ紅ゝかゝん神ゝ藤　宗利
蓬莱ゝ者八ゝゝゝ芳師椎　正笑
武士乃いゝゝい物やかゝん栗　休甫

師走　橙　　串柿

ゝゝ修ゝ色ゝ鶴もむすゝ　名波
農業ゝ名ゝ行ゝゝ師走家　既白
稲乃すゝゝ亜すやゝたゝ　左蓋

春八

ゝ柿や枝ゝ形ゝゝゝゝ　梅聲

俵子　生涼嵐　押鯨

俵子八ゝゝゝゝ席ゝ　子宋
押鯨やゝゝゝゝ海所　翔葉
世ゝ名八ゝ亜ゝ鼻ゝ亜　遠丞

年男

ゝゝゝゝゝ糸亜ゝゝゝ　呂梅
白ゝ式の蓋ゝ撰ゝゝゝ　言水
松寿ゝ川馬つゝゝゝ男　鈍雪
京縞乃布ゝゝゝゝ男　樗良

庭竈　立嵯峨女

鄙おみなくめてたゝ庭かまと
火とゝゝ乃ぞのこゝゝめや庭竈

福ワ〳〵やめてゝ女ゆゝ苔むほうゝ　渭山

年玉

年玉やワひ麻乃庵の枕上　石波
ゝゝ玉ゆゝ光ゝゝゝけ乃ア毛　素丸

羽根つく　毛羽子

ね根つくやせんゝゝぬ大まゝけ　左祇
ね乃ゝ板乃一番ゝや内ま葉　石波

やアもこゝやゝ乃ゝ集まゝ乃左乃口　雲祝

毬打　玉井

毬打ゝ玉武井ゝ小枝ゝ　素光
ゝゝ〳〵ゝ葉ゆゝ乃ゝ男の子　雲波
玉井ゝ侍ゝゝゝ乃ゝ　楊山

破弓

丸ゝゝゝ八幡ゝ屋ゆゝ矢ゝ　左祇
けまゝゝゝゝ押ゝ川ゝゝ葉の角　左蓋

寒川

寒川乃侍ゝゝ素ゝ男ゝ　石波

桜ちやきのまりほし相ぬくり　本祇

試筆

子孫よ先悪飾や筆おろす　蔦亭

さて見こそ身に似せる筆あき　團角

海老殿もいとも筆始　流峰

弓始

めてたさに皆引当や弓はしめ　存義

たゝう先飾有やゆみはしめ　米宜

謡初　ひめはしめ

謡初や柳乃上哉漕さくら　竹阿

具弱の甲斐に何ぞ春やかさん初め　湖春

金銀すらさる比さもぬかぬ始め　済々

きそはしめ

仕立着る花もとしや雅なれ　方山

何乃恩角の悲を知りきぬ始め　李雨

猶もあ後もそふてしきそ始め　素丸

商始　初夢

よい夢を見し春みに便り　沾元

初夢や浪花行らふのしこまえ　存義

鏡餅乃行なれぬ店さしき　蓮之

春部

本町や白ひかりて春かすみ　玉甫

二ツ物連句　日條潜

昌隆の書きそかんそん清代の春　荷兮

二ツ物　新る白つゝ二人うゝ　二日坊

初暦　初茗荷

生きやとて又ひきうゝりひよこ　也有

さゝの葉にまとかうん山の二の山　安部

けつ申さやつゝ来るゝ三ケ日　友静

稲つむ　稲上る

正月の稲つゝ八ゝうゝ　李吟

田歌もさゝぬ所も稲上る　梅盃

初芝居

初芝居若葉我が茅の家菴　東藍

年高く後者ゝ後者ゝて初芝居　雅因

試筆　吉書　書初

書初社使や手代の春　畦子

年初や初ゝ伊勢の使　李有

楪葉や日ゝ文ゝく曾如　玉角

書初ゝ行ひ来ゝる事新ゝ　也有

春駒　松囃子

春駒や男親なふ女乃子　左衛
子乃子や四条五条乃牧乃　馬呼
松囃子乃義或塚もしめふり　唱笑

万歳　拍子舞

万歳や餅のふきこ乃竈はな　左衛
万歳や餅乃風呂はけや拍子舞　稲竹
万歳乃成れるんやりとも入戸口乃　也弁
疫病乃志志やくとたう拍子舞　左蓋

拍子　春駒

猫引やさるふり乃ゑへる人の姿似　芝蓋
さるふり乃村乃ふる呼子乃　谷餅
春駒乃唄も世くふ乃唄乃　矢晨

大黒舞

面乃くくとたう大黒舞　市川

御祈

はさうや京も御乃門の雲　方山
はさうや人乃本乃ふ乃雲乃　鳥政

化粧文

御祝

古乃手乃ふ嘯乃さくとまふ　嵐雪

[illegible]　梅窓
[illegible]　呂翰

[illegible]　白之井

[illegible]　夢左
[illegible]　飛湘
[illegible]　春文
[illegible]　巴丈

梶葉　画帖貼戸

[illegible]　安静
[illegible]　定武

如月

[illegible]　雪の
[illegible]　松堂

[illegible]　春の立声
[illegible]　立圃
[illegible]　雪水
[illegible]　夫兼
[illegible]　良位

初[illegible]日　小松川

沖なる社野みとみくるくるとゝ初るの日　路通
ゑうげよまゝも引ゝるくるのりぶ　樗良
夏野子ゆるくる屋錦つくや小松川　春翁
芒うるふかたゝやゝまりゝ　白芹
名山東ゝ成ゝもゝゝるゝ小松川　青改

芒橋　七草　芒葉

軽服ゝ七野ゝくゝ来ゝ芒葉つゝ　生角
被ゝ者ゝくワふつゝゝ　春由
二葉ゝゝつゝゝ結ゝ芒葉ゝ　芒雀
七草や袴乃紐ゝゝゝ　芹村

七草や余ゝの芒ゝもなまりゝゝ　太祇
七竹や之一朝乃記ゝ　稲作
うゝゝゝ之ゝ　莫ゝ
きゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　樗良
小芒ゝゝ西ハ買ゝゝゝゝ　召波
紅紙ゝゝ御ゝ毒ゝゝゝ芒葉ゝ　竿秋
ゝゝゝゝゝゝゝゝ限ゝ志賀乃芒つゝ　秋尾
あゝゝゝゝ紙梅ゝゝワゝゝゝみ　蕪来
芒葉ゝゝ乙人落合ぬ紙原川　嘯山
結乃袴ゝ言梅芒葉ゝ　竹之子

芽　佛座　蓼莪

[illegible]の芽は[illegible]白し　工安
[illegible]の芽の中　苔有
[illegible]　言水
[illegible]　情門
[illegible]の座　重平
[illegible]の郷[illegible]　岩雲

蕚菜　杉菜

二葉[illegible]　風国
[illegible]　方山

命[illegible]の野[illegible]の杉菜　一村
二葉[illegible]　仙堂

初寅　香杖

初[illegible]　[illegible]　左袴
[illegible]　[illegible]　雄子
[illegible]寺天狗[illegible]

弦[illegible]　重厚
酔[illegible]　左蓋

卯杖　卯槌

[illegible]　許六

[illegible]

二宮大饗　臨時客

[illegible]　之國

[illegible]　雪水

裏白連歌

[illegible]　之國

二ヶ月　二日

[illegible]　春義

[illegible]　桂良

[illegible]

松ノ内

[illegible]　沾徳

[illegible]　寸唐

白馬節會　弓奏

[illegible]　雪水

[illegible]　竿秋

[illegible]　宗因

七日正月　人日

[illegible]　玄札

[illegible]　穀石

人丸帳ゟ貼交

京帳ゟ浦島画ハ家代之　玄元

菜摘川神事　維舟

すりゝ川みそぎゟ之ゟ神事行

色面富突　後伯

為彫くゝり未ゝゟむゝの紙ぶ

其ゝ院御陵法

子武抱く御階武平ゟ御陵ぶ　左祇

紙くゝのゟ図象おゝゟ多ゟ七日　方山

巻使節神事

永ゝ武ゝゟ神のゝゟ節　乙秀

川会ゝ恵人ゝゟ　ゝゟ節　東益

美祭　帳ゟ

振舞武祇小ゝゟ拍子　恵常

世ゟ和ゟ恵ゝゟ世ゟ　家之

世ゟゟや小店ゟゝメゝゟ　行方

縣台除目

舞ゝゟ京帳ゟ武ゟ縣　右　来妃

宗任ゟ武ゟゝ来ゝゟゝゟ　海く

えゝゟゟゝゟゟゟゟゟ　吉水

沖奇日　門論義

門論義　福井藩士　高政

男鹿の雪　かさ〳〵雪

鶴亭　風狀

月の影　男選　雪鼓

[illegible]　西武

未〳〵も綾やかに　ぬる春の[illegible]書　文峰

見て角乃こゝろもとなつかしき　雁人

十四日年賀

山年も静しい雑〳〵　十四日　生清

春ノ十八

紀川　さと義長

綱川　小家乃母　もち交り　西峰

さと義長や　月小乃地蔵　巴丈

つぶ川や　蕎麦　交ふ神の[illegible]　乗楚

上元日

上元や　杉よりも　老く春の月　一有

上元や　花しかも　[illegible]振袖　交作

沖影

みすまや　かゝる[illegible]　煙　生清

京竹夕

竹さくを　矢倉
竹ぶきを　良泊
稲ふの　佛
粥しる　うゆ杖　うゆ杖
赤ゐ　女ゐ　うゆ杖　帰山坊
うゆ杖や　梨子屋の　ゑく　荒川
粥杖や　柿　牛家
うゆ杖乃　茶屋
平家物粥
河田湯と　焚く　忍乃山粥
狗子陸神事　宗立

伊勢原　神　粥杖や　柳　二日坊
赤かし　荒ふや　梨子　小田の稲　望一
蹄弓
のゝ上弓も　八王子　蓮石
庄神系　義氏将来
年　庄神　寄ふ　弓武
庄神を　稲　所　鈍峰
吉田清稜
こつち　神　集　清　安静
清稜　もや　神乃　梨屋　蓮石

ゑこ之続別

しをしきや出る衣紋のみえるま　呂波

こちらぬ乃召捕いちふやかけて別　知石

秋日正月　大悪饌拾ふ

正しくいふなとも末乃はれ川かゞ　友玄

気取らく春さ代もつなく悪餅ふる　武山

三寸寒や梓かりへきうふまち乃色　雲甫

伊勢紫參

手向ふ日に汝も古来しいのちきるふ　林川

御忌

御忌参りて顔乃みしき粽春の節　六如

人妻乃喜きて御忌の鳥諸　大雷

法然乃徳傳え字ても雲雀乃上　梅作

月トサ雲雀月ふこほるや御忌の種　九董

初そなあしらとう結し御忌の夜　標良

御忌の続講集な中をとふ乃声　宗史

葛根弊

人やもりやあしがら春く梅乃色　吉菲

人ふ出るふやすきぱりや偎偎ぬ　石祇

東風

徐々に春の風入るまのいとさびて　吉東
春風交く川原ゆやゝ寒し　谷彼
掛菜ふきみだす春雨つゝまぶ　右祇

春風

春風よりてやゝ蓬射乃綾蓬笠　人丸
かすゝ吹角とゝ志春の風
芝居物ゝ吹ふゝ人やまちの風　[illegible]
春風や女ワゝ乃川流ふ　李知
春の風吹ふ笠後のこゝ乃ぶ　銀成
阿蘇ハ春風ハ春ふ色ゝ春の風　屋松

大佛乃ゝ[illegible]ら[illegible]春の風　二柳
春風ゝ[illegible]や蹄乃ゝ[illegible]ゝ　眠節
春の風吹ワふ中ゝ[illegible]ゝ　宗文
ゝふ風の春ハ[illegible]ゝ　嘯雲
春風や[illegible]ゝ　末山

氷解

うゝ笠乃ゝ[illegible]ゝ　東華
芝田春の氷ふゝ[illegible]ゝ　千清
奥氷小ゝ　
尾ゝ[illegible]ゝ氷ワゝ[illegible]ゝ　巴翁

雪解　殘雪

[illegible]　宗文
[illegible]　孤雪
[illegible]　成美
[illegible]　左袴
[illegible]　維舟

春し雪　淡雪

[illegible]　樗良
[illegible]　宗文
[illegible]　左袴

[illegible]　蘭東
[illegible]　他力
[illegible]　一葉
[illegible]　二柳
[illegible]　英之

椎寒食祭

何神へ[illegible]　孟遠
川椎[illegible]　左袴

水鳥嘴

[illegible]　樅軽

福壽草

雪ふる色も移りて福壽草　涼爽
古年の枯まくさに埋もれて　福壽草　稲竹
一本ハうるはしつちくれや福壽草　石波
木し芽

雪ふりさらぬ枝に校枝木の芽ぶ　雲鼓
春ふるふるし枝乃木乃めぶ　渠柳
木しの芽やうる山ぶきの京芽ぶり　烏光
雨ふる木のおしなべて二葉ぶ　涼爽

蕨苗　蕨　苗

二葉よりとしをへたるもんぶ　正也
つくりそだてる汝も走りすや蕨苗　春村
蕨陰やもえ延るくるふきの苗　宗文
山陰や小篠乃系まきまれ蕨苗　二柳

下萌　菫　立

下萌やもえ初る裏目の物乃色　志祇
そこそこもえ出る色あるあり時何　乾坤
菫草やかの方ふかく明しかの色陰也　嘯雲
菫草　くり草
菫草ほのぼのと延るくるまきの苗　涼爽

なの花やくゝりもなくゝりも行て　嘯山

もかるゝや白魚網をあけてあり　宗文

和の草や障子八きゆる雪の際　風楚

まゝ川芽やつくしはもふれ霞の中　大魯

菜はな葉　芥子菜の葉

蟷手すりに来て来る花の菜葉かな　几董

ふゆ菜さくあゆしき芥子もよ菜ふ　青蘿

梅

火くりもちりし梅ひらく子日ゆるし　嘯山

梅うりに打く行く梅乃葉なりけり　樗良

二本乃梅に遅速を愛すかな　蕪村

尺八もきこえぬ隼や梅の陰　几董

畑より法梅かならぬ野川かな　召波

手折とも折くゝ見てる梅の花　太祇

梅うりや杉しも年なき気朗　宗文

玉梅哉几く夜も八稀なく白ふりて　青蘿

行り来梅に酔しる宿の榛かな　三方

去る梅乃陰にたゝすむ女かな　枝ト

伏その溜りしりよりて梅ちりぬ　百馬

野つゝき乃梅に星のかゝまり　陶河

梅咲く垣ふ籬波乃とをかを　南明
之時節もふ亦梅みをの　末山
古郷や池乃塔ふる梅乃ゑを　一の紅
梅さくや碓氷を越る新塔の　ゆ嬢
頃申ゑと男ゑも梅乃白しか　ゆ子
二り坊

柳

ゑうーゑゑ星ゑ洗ゑき柳ゑふ　樗良
人ゑゑ四ゑ申乃枝風ゑゑー　嘯雪
ゑ柳や芽ゑ出ゑさゑゑ芽乃中　芽村
遠里や柳一本ゑゑゑゑゑ　宗文

ゑゑゑ乃ゑゑゑゑゑ柳ふ柳ゑ　ゑゑゑ　白雄
糸柳ゑゑゑゑゑゑ岩根ゑ那　黒沢
清ゑ乃さゑゑゑゑ申ふ柳ゑ　玉化
柳ゑゑゑゑゑゑゑゑ遠ゑゑゑ　石波
ゑゑ柳ゑゑ人乃ゑゑゑゑゑゑ　宗左
演ゑ二り乃ゑゑゑゑ夕ゑ乃柳ゑ　呉江
ゑ柳や星ゑゑゑゑゑゑゑゑゑ　古瑞
ゑゑゑゑゑゑゑゑゑゑゑゑゑ乃中ゑ　東吹
明ゑふ一本ゑゑ柳乃ゑゑゑゑ　才麿
ゑゑゑゑゑゑゑゑゑゑゑゑゑ柳ゑ

ゆふ暮く梅も行くれし柳かな　几董
青柳乃雫ハ星みあゆミけり　一草
青柳やなかしくも何してい葉　丢尼
ゐみ乞みて来て落る柳哉　巴之
ふる霧に寄りしかめるやなれかな　滄く
柳乃空になりてそも柳ハ朝　稿竹
青柳乃ちらくて行くに柳かな　古来
縦行ら不思中来てく柳かな　風也
江乃迷り柳の様もあらぬかな　東藍

ゑゞ

菜の花なきところにのみ初ざくら　蓼太
しくしくすや山陰しきぞまれに細し　涼袋
菜の花乃古歌ありて初ざくら　樗良
ゑらや花見橘ふく食時に　蕪村
さら飛来の径の初や枯ろく　几董
若くや人やて過ゆく何く旅雲　嘯風
しくれすぞ先の川に梅くまれん　稿竹
菜屋や初ざくらもくも中縁に　風也
若みなき一夜くもして初ざくら　千代尼
菜鷺や梅咲若葉まて出けり　牧童

[illegible]門柳人の新後撰集　乙後
[illegible]　一
[illegible]一ねすまるく[illegible]　定家
[illegible]小枝ふまくくの[illegible]　家
[illegible]すよ[illegible]きうとの[illegible]　為
[illegible]東くたとたちのくず　浮
[illegible]ふ[illegible]時うてまるきう白の上　家交
[illegible]何のたまるきて妻[illegible]奥　右後
[illegible]ゆふ[illegible]時やゆ海乃上　右衛
[illegible]石巣のうの山うう　女蔵

果[illegible]

[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]　右衛
果[illegible]　源宰
百[illegible]

山[illegible]　一牛
百[illegible]　女蔵

佐保姫

佐保[illegible]　雅月
本地旋橡

[illegible]の[illegible]本地乃[illegible]旋橡　女蔵

[illegible]　[illegible]　暁

肩身八歳世を明るまぬ寺の

[illegible]や野に初しるる牛の音　[illegible]文

[illegible]や[illegible]も羽うち鳴る窓　松堂

餘寒　[illegible]

神[illegible]や一もむらの[illegible]

[illegible]一春二春ぶ　[illegible]

情なし　[illegible]　[illegible]　[illegible]

梅の枝成[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

雪の[illegible]　[illegible]

霞

八重[illegible]日[illegible]　[illegible]

[illegible]や[illegible]　[illegible]

夕[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

山[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

鶉川や霞くとまた来るつる 更仙
舟泊乃若艸やゆふ霞 挺示
朧月あけ日わすれ川の霞 標良
陰場乃鶉舘もとのちる春霞 蕪之
[illegible]川や瀬の春かえし 鬼曳
草霞ちりの春き夕かな 蕪村
山ふみすゝ流くもなき夕の舟 宗文
霞のうき[illegible]三千尺 梅竹

若松

若緑　松の花

若松や夕山雲乃霞みけり 宗文

嵐にも並ぶ松乃みどりかな 蕪之
[illegible]八花よきし松乃花 蕪之
若みどり[illegible]の松の花 大泉
[illegible]八ともきれ雲松花 素丹
汐風や瀬くや松乃みどり 乃龍

白魚

白魚やあれし春る火の清かれ 蕪之
鳥角やみよりふしく砂訓松 平歌
[illegible]も足ふ舞ふる 浅泉
[illegible]のしろきくれまひ 鳥告

白うちとりの足にいとうの根　羅門
白魚を鉢の中よりすくひ泡　不閑
白うぐいすのなきてのあるく　鶯蹊
白魚を骨ぬき丸煮うるか　嘘雲

千鶴

ゆうすずみ　鶯蹊
新うりや千鶴の花の角　嘘雲

海苔

家毒に海苔千女のしたふ　移竹
青のりやくるりくるりの毒汁　九董

ワラ敷やはまの海苔より縄ゝの貢　二柳
ふこのりやうるりくるりの蘭川　魯文
はまの海苔やゆの浪ゆ　雅川
まきのりや蔭茅ゆ〜電ゆ彩　宗文

千菊

雪嘉乃ゆかりまるぬ千うゝ　一菊
魯漢やまるたゝなき千菊　玄化
引延ゆ強うしくるや千大根　嵐山

嫁うけき

見ふくうしゝ神ふるめ　紫言

よめ入て見世さきつゝむ嫁入かな　浅子

芭蕉　山椒皮

芭蕉くゑをく春を追ける桜かな　根檞

うしき世なほ爪に春くる山椒かな　孟如

子の日衣　鶯衣

人くに袖引たる子の日衣　光舟

鶯の衣や色香の染つけん　如炎

人々に名をよびぬる子の日衣　西鶴

しらひ衣の衣に春の白ひかな　虫平

梅か枝うし

春鶯囀　鶯筮

鶯も付し梅うゑしたしふるき　友元

しらひをもきて梅か枝やうらひ物　如水

春鶯囀楽屋ハ谷の戸口かな　春清

春の水

春の水なまくくもつれるかな　鬼丈

風に流されて流れつゝふる春の水　蕪村

なかるゝ乃くらは春の春の水　宗文

春の水なき野見て流れきけり　百池

日乃影の何しん時ハ春の水　青荷

折ふしも八舟八かゝる春の水　太松

春日

春陸
竹亭
几董
稲竹
太祇
左盌
石波
宗文
嘯山

春日
太祇
蕪村
兎毛
馬来
蓼太
白馬
嘯山
車人
蓼村

書文入

嘯山
車人
蓼村

[illegible]　福竹
[illegible]　志穂
[illegible]　谷陰

二月

如月

[illegible]　好春
[illegible]　秋風
[illegible]　桂山
[illegible]　北董

[illegible]　嵐雪

吉野餅配

[illegible]　芝雪
[illegible]　立圃
[illegible]　春美

初午

[illegible]　立圃
[illegible]　文考
[illegible]　華村
[illegible]　宗文

初へまや月ぬうらふる鶴のうし　翁字
ちりうや生ふまれるぶ中ゑ　石波
初年や信ふくはけふ人乃中　古祇

東福寺懺法

懺法乃初位見てけふまも東福寺　由雪
ちんちゝみあてまるとりのもさ　汗六

水分る初年

初年や泊庵ほとけるとゆ宮　句蓮

本ぬす初年

ちりうるあゑん藤ちう　儀　玄札

二日灸

小窓てふまを乃り蜂〳〵二日灸　蓼女
二日灸、ちゝ乃ゑ命　九蓼
二日灸ゆも明るゑいのちゞ　左蓼

歌まき子

歌まきやゝ人のなりまゑ貸物　西武
少年よ妹うまきくみや歌まき子　春美

釋奠

歌奠や歌之すまゝなゝゝゝ　一宗
歌てんや主ちう御しん相手風　素九

初卯

[illegible]　英志

[illegible]　和及

春日系

[illegible]山　梅盛

園韓神系

[illegible]　矢兼

大原野系

[illegible]大原野　玄札

祈年系

八百[illegible]集て祈[illegible]　玄友

祇園御八講

八講や[illegible]首[illegible]　文昭

列見

列[illegible]　文鼎

[illegible]　巴人

吐良八講

八講や湖[illegible]　[illegible]

彫物

[illegible]の表[illegible]彫[illegible]　[illegible]

[illegible] 霊鷲山
[illegible] 中尊

二月堂[illegible]

[illegible] 二月堂 [illegible]
[illegible] 玄札
[illegible] 二月堂 [illegible]
[illegible] 二月堂 大[illegible]

遺教経

[illegible] 番国
[illegible] 経 [illegible]

涅槃　佛[illegible]

[illegible] 山 嘯[illegible]
[illegible] 涅槃像 [illegible]
[illegible] 八[illegible] 午[illegible]
[illegible] 孫[illegible]像 清九
[illegible] 涅槃像 大[illegible]
[illegible] 從[illegible]像 宗文
[illegible] 佛 [illegible]

嘯[illegible]

[illegible] 嘯[illegible]

興福寺常樂會

[illegible]　和及

常樂會席上角切過て後　源常

續塔

續塔や[illegible]　仙室

脇月

[illegible]の[illegible]　宗文

[illegible]　嘯垂

[illegible]　樗良

柳[illegible]　[illegible]

[illegible]　青蘭

[illegible]　[illegible]村

[illegible]　石波

六條[illegible]　小校

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]月

[illegible]　一鹿

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　沾德

社日　治聾酒

義醫者乃秘法製する社日酒　梅聲

毛髮を白くなしふ社日うの日　竿秋

治聾酒や行ふる餅米一斗七合　雲鼓

稗ふるに一斗米を蒸る社日うの　晩山

彼岸

彼岸とくくとあつまりて入る　多酔

世乃くるや彼岸の市に出る仏　似鳩

相ふるふ笠ふる彼岸ぶ　多桂

毛合ふ参ふ参ふ彼岸ぶ　北枝

粉をとすりくくつきもち　一殺の彼岸ぶ　東山

北野市忌

雷社影まつまを市供ふる　晩山

市供ふを色あるきふの菓子ぶ　紙舟

格式乃ちまを持ふる乃京　鞍石

道明寺

神祭よ吉蔵まつる五色明寺　寸海

ふるふ日色ふもふるきを尼の五形ぶ　西雲

天王寺聖霊会　貝寄風

市供ふうん所を云　仙雪

[illegible]　麦水
[illegible]や見[illegible]ぬ波乃色　蕪来

時宗頭念佛

[illegible]もすくもる頭念仏哉　[illegible]清

[illegible]や[illegible]乃[illegible]れ　曉雲
[illegible]や[illegible]乃[illegible]　乃有
[illegible]や[illegible]　夢志
[illegible]や[illegible]　志賀
[illegible]や[illegible]　稲竹

[illegible]の月　百波
[illegible]一ト二ト[illegible]　蔦男
[illegible]　汀竜
[illegible]や春[illegible]　芩村

砂寄後亭　弓し語

酒[illegible]　屋砂
[illegible]　石蛇

蛇穴[illegible]

[illegible]　朱拙
鞭鉄穴[illegible]

出すとゝけハ人成変りて　三ヶ水

地ゝ出る

ちゝ〳〵地ゝのゝれ出るとの信　宗文

ゆゝしきゝ走り新やゝの穴　丶

鷹化く旅ゝ成ゝ

鷹化し〳〵て傷ゝ三乃禅寺ゝ　西武

走り新鷹　白尾　佐保姫

移板乃ゝ高ゝ新ゝ高ゝ移板ゝ　屋人

人のゝ出ゝ出ゝ者の移ゝ〳〵白尾ゝ　丞如

逸角乃夢成継尾の鷹もゝ　竜良

住吉姫の鷹ゝ成ゝ〳〵ゝ出ゝ移ゝ移ゝ有続　徳元

鳥し巣

鶯の巣ゝ枝乃巣成新ゝ鳴ゝ　恵山

ゝ新ゝ新ゝ新ゝ新ゝ新ゝ新ゝ新ゝ新ゝ新ゝ　宗文

ゝ乃新ゝ巣ゝ人ゝ者ゝ新ゝ山ゝ者ゝ信　惟川

山家新古巣新新ゝ二ツ　百波

巣新巣乃移ゝ斗の巣ゝ　左吉盃

ゝ嘴

嘴ゝ見ゝ〳〵ゝ巣の落ゝ〳〵　巴丈

百ゝ乃新ゝ成ゝ〳〵ゝ巣新山　春江

鶯や野ハ霞ふる紅色　蜀山
巣乃鶯を啼くかくれ毒也　青義

鶯子

高高ゝと鳴ぬ川や鶯ふる声　移竹
鶯人乃ゝまこゝろハ鶯ふる　涼常
三味線社川ハ鶯ふる　嘯雪
ゆきかのやゝ様ゝとゝふ鶯ふる声　英之
啼やゝ星ハ百俵家雑野ゝ鶯子　宗文
岑社ゝ鶯ふる市ゝ立鶯ふる　石波
ゝ鶯ふ鶯ふ鶯ふ鶯ふ鶯ふ　玉九

山ゝ霞ゝとゝゝゝ戸ハ明ゝ又鶯ふる社色　野紅
赤ゝゝ山ゝゝて鶯ふ寺住ゝ鶯ふ　英之
しき巣ゝゝ鶯ゝゝ鶯ふ鶯ふ鶯ふ鶯ふの声　玉屑
鶯ゝも鶯ふ鶯ふ鶯ふ鶯ふ鶯ふ啼西日ふる　女山
ゝゝ啼ゝ巣ふ鶯ふ鶯ふ鶯ふ鶯ふ毋後　九董
垂山ゝ西ふ大工やきゝ社鶯ふ　芥村
垂啼ふふとゝ又啼ふ鶯ふ鶯ふ鶯ふ　嘯雪
ゝゝゝふふ弱鶯ふ鶯ふ鶯ふ鶯ふ鶯ふ　宗文
郎ふふ阿ふふき鶯ふの月鶯ふ家　英之
人ふゝ啼ふ啼ふ鶯ふ鶯ふ命ふゝ　左孟

海ノ山　海ノ杉　きそすぐる

遠き来くさふつまつく雑るぶ　一排

ぶきまり山ゝりや紙乃山うりら　五拾

列ぶ杉もめらつきさしとまる杉　寿武

光るまくく杉ますくるやあるくく　春活

砂ぶゝゝ杉ゝゝ杉ゝゝ杉ゝゝ杉　左蓋

杉摩

朝摩や素ゝ多ゝ列率杉多　渡甫

蕉

乙ゝゝ杉ゝゝ杉ゝゝ海ゝら　嘯雲

住ゝゝぬ栄ゝゝ杉蕉ゝる　朝茶

玄ゝゝやまゝゝ生ゝゝる滝蕉　夏川

ゝゝゝゝ小ぬまゝく集ゝ蕉ぶ　呼中

蕉ゝや自杉ほゝゝうめゝるすゝ畑　移件

乙ゝゝや海ゝ生ゝ家二杉　九董

ゝゝふき戸ゝ杉ゝゝ蕉ぶ　石波

ゝ杉ゝゝや杉東蕉ゝゝ乙ゝゝ　志稜

大津杉ゝ栄ゝ杉ゝゝ杉ゝ　苔村

良ゝ

良ゝゝや海山屋杉ゝゝ杉ゝ　天恵

鳥さしの眠まどふ椿乃古枝かな　方山

帰雁　春の雁

砂まじり海人以外り春の雁　宗交
帰る雁旅人の気色まゝなかな　嘯臺
きのふ去けふ去雁の幾夜かな　芥村
雁立て隅乃明るき夕かな　梅竹
春の夜を何を追ふて雁一つ　標良
見へて去へなる空へ去なるとぬける雁　貞一
行くかゝる雲のさへ雁の呼声哉　石波
風呂の戸の戯れて雁見る名残かな　几董

雁の声春乃眠をさましけり　雲華
江の川乃雁や何ゆき海乃上　榛酔
のびくるに名残も雁の三枚かな　嵐雪
雨ほそや嘯かけり塒雁　鬼丸
去年の今ハ江戸にやさくら春の月　古芋

松雀

生延ふ春とハきかで松雀　尋求
分射も古巣を雲に松雀　古芋

雲雀

しきりなる笠

る雲や小竹かさして鳴ひばり　嘯風

川船やうの荘吟ふり　古花　宗文
芦ホ花なるふの上あきふるる　素丸
笠ふるるふる船りの上りうの荘ぶ　鬼蓬
吸ふふる家多ふうもふふるる　志俊
日一ちふ吟もふるるの柱うの荘　友三
東ふる城ふうふふふふふふの荘ぶ　いち
羽光ふちとふ物今ホ峰ふ荘ぶ　也孔
瀬手ハ春ふ城ふ打ふるる武　東城
竹原や降ふふふふふく吟の荘　ふふ
高原ホ四今ふふやタふふ　古波

春ノ四十四

鶯　うぐひす姫

うぐひす鶯やふ初ふふる山後家　武ふ
春乃春やふふ姫ふふふ巣ふ　嘯柔

駒鳥

ふる鳥の時あふふふや拓乃夢　半綾
駒鳥ふふふふふふ吟ふ春の雲　宗文
こまふふやこふ彩駒けふふふ深　ふふ
弱ふふやふふふふふふ谷の庵　星孔

雀しふ

くのふふ岸ふふふふふ荘ふ子　古波

蝶

春 四十五

儿菫　左衽
孫頑　左衽
菫村　左衽
東山　左衽
儿菫

左衽　宗文
菫文　懷仄
生佛　徒弟
湖仔　爲東
横川　曉雲

蔵本にたもちつゝんこゝろ　標良
打ちかゝとゝ乃てまてゝ隣一ッ　古蓋

峰　嶺し巣

六人乃ゝ人追ふ時のこゝ時うる　宗文
人追ふ時ちゝ時ちゝ者ふ上　古祇
切干乃ゝ上ちつゝやちゝの牧　移竹
時ふ巣や人を者ふ表の声　所人

軋

茅野ちく軋乃ちゝ也被うる　宗阿
軋ふちゝ乃ちゝ乃ちゝ乃ちゝ　移竹

蕨ちゝや蕨ふ時ちゝ軋乃雄　竹亨

科　平

一時八ちゝ時心うちゝ加郎　古来
桂時や乃ゝ玉ちゝ加ちゝ乃ふ　標良
孫ゝ中ちゝ上ちゝ明く時乃ふ桂　宗阿
桂ふ上ちゝ時や乃ふ藤乃上ちゝ下　古祇
ちゝ加郎ちゝ上ふ桂ちゝ乃ふ　陳寧
桂時田乃ふ乃ふ新く月ちゝ来　宗文
桃郎ふ新ちゝ上ふ桂ちゝ乃ふ　鳴青
蕨ちゝ乃ちゝ乃ちゝ時やちゝ時桂　百崎

猫と戀

恋猫の尾ふるもはかりかなしさ　嘯雲
ふるかふの袖こも呼みるまとぶ　矢示文
格子戸を春宵もなほしと猫の恋　芝春
やしかまは耳よりうとや猫の恋　冬祇
野ゝ社袋ゝ星つゝまり猫の恋　孔董
やしかき春アア森ぬ袖とこの眠アア　百陵
猫のうと書とぬのとと人の恋　沾徒

竹原や二ツあるところむ猫乃鈴り　玉木
賀町や野より時雨く猫のこゑ　曙章
恵猫乃鈴ハいとゝやりとゝ成　柏史
春雨こゝく猫さゝやけ戸の猫の恵　多年堂
春さめ春ばゝ志りなく猫乃恵　蕉堂
恵さゝゝゝ人のゝれゝゝ猫乃春　西来
笹ゝゝ中清水ゝゝ春の猫　桃化子
眼乃ゑのゝゝゝゝゝ猫ゝゝ恵　春蓋
鍬ゝゝゝゝゝぬ乃ゝゝゝゝゝゝ恵　清峯

乃光　糸楚

乃光ゝゝ糸清入ゝゝ田乃口　志秋
糸ゆゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　宗文
うゝ清ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　嘯雪
いゝゆゝふの毛ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　光雄
乃光ゝゝ鼻ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　清峯
うけゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　蓼志
乃光ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　蕙村
うゝ清ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　儿董
乃光ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　樗良
うけゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　白波

はるさめや鞠乃小庭も乾く迄　青宮以

うけらふし引むまかき人の後来る　三子亭

はるさめや浅の八草おさ川かる　蓁蘭堂

寿きさかな

寿きさかな杖よりも落る古茶かな　芦涯

村深し春雨つる里門むかふ　几董

さりとたかふあさりのさく樽かな　本芸盃

初餅

初餅やきり井出たる京乃春　定武

ころ力

あり串やさらし蛤ふ石乃宮　風芝

まてくしや蛤り工乃くもなし　孟遠

鰆

茅ほふ手元広しや鰆乃形　鞍石

寿在宿

川先浅家とするふ身も寿在宿　之芝

かしふこと宿り業位る額かな　本芸盃

鮑

飯蛸

湖乃たしくつまふも鯖こ哉　五如

[illegible]　蓼太
望海奥や飯なきまでの山さくら　態三

[illegible]

潮乃満[illegible]　古渡
実成るふも女乃業や[illegible]　紅舟
月[illegible]　[illegible]清
[illegible]乃[illegible]　孤舟

田螺

[illegible]　嘯雲
田[illegible]　冬葉

春ノ五十

田螺[illegible]　右袴
行ロ乃ワ[illegible]　石渡
[illegible]　稲弁

初雷　稲光

[illegible]　几董
[illegible]　言水

紅梅　八幸梅

紅梅や[illegible]日乃中二日　嘯雲
紅梅乃[illegible]　[illegible]村

紅毒や[illegible]ふき屋乃[illegible]　移作
紅梅乃[illegible]や[illegible]紙つと　左祇

茅梅

茅梅や白[illegible]とられハ蛛う[illegible]　夢志

紅我待　初雲

茶山く[illegible]ほ[illegible]紅[illegible]　左芝
初[illegible]や花の[illegible]の[illegible]き　嘯豊
[illegible]や[illegible]ふ[illegible]郎　百人
待[illegible]き[illegible]　斗雪
初[illegible]や[illegible]人乃[illegible]現　夢志

初梅　糸梅　彼岸梅

[illegible]人乃[illegible]ほ[illegible]梅　夢村
[illegible]梅　柳良
[illegible]梅　夢村
[illegible]梅　呂波
[illegible]梅　れ蔓
[illegible]梅　策文
[illegible]梅　左芝盃
[illegible]梅　呂給
[illegible]人乃初梅　屋人

椿

志ゝ椿ワ[illegible]り金仁乃舎ぶ　一二亨
涅槃小と八手ばの御ふ椿う郎　定口
蓮ぢんと蓮ぢうゝふ椿ぶ　石渡
ふくろまちたん仏く蓮乱椿ふ　移作
ひちちきなりや椿蓮ふりせる　漆　芦村

絵本

花う宇宙乱絵本ふめさ乱人仁　嘯雲
つきまおふふるの乱風夕ふる　嵐雲
垣ふ小梅ふちかふ絵本ぶ　芦村

絵穂すふ侍子本を刈男ぶ　五嘯

苗代草

まを蛙山田ゆつふ草ふ　西鶴
鶯ふふ苗代草ゆ鳴ふ霜　ち氏

燒野　野燒　山燒

燒立ふく好ふるまり燒ぶ　芦右
川神ふふふふふ燒野ぶ　宗旦
ふのゆ立自身も安うぬやを野ぶ　椋良
東ふふゆ小ふ陸ゆふ中け野ふ　芦村
山ふやくゆ中や蕪くふふ野ふ　宵稿

野武蔵や小町う闇雅不言　凡董

きくらの乃蔭

嘯よるや寒き絡の乃きれ示　苔村

きく絡ふるきも蔭ふ蔭ぶ　雅人

花の蔭示

蔭きくや花乃美美社之身　宋人

畑ぶ　畑う人支

畑ぶとうく雨ふる茅飯ぶ　嵐雪

畑ぶや月ち蔭秋れ鶯の旅　風芝

けきくらや毛人呼め山陰ち　苔村

畑ふちや法之章乃れきた　丶

きくぶや呼呼度の春乃後　嘯志

田ぶ　耕

海藻を今成ききの四面ぶ　宋文

ナは川や耕人乃山う永　石渡

耕や五乃雲よを新　苔村

祇社四もちりよう支きぶ　青牛

絶たち　紅淡

古川乃伊毛成川つうまぶ乃　苔村

よもきくう吉世るや紅くく　丶

芽代

芽代やりかけてまとを通ふさ　古渡
苗代や稚乃仕きらぬ宝の跡　蕪風
かりそめの乃くの雪ふと貴　性石
明くる行ゆ札よりうめふ俤名きし　偶人
芽代や一うきまるふまき乃色　芦渡

水口柴

水口や樽ぬきまりうく　如猿　巻石
水口や寒うる刈一畝　化　篤行

蒜　つるふ　あさつき

胡葱の絶うる後乃仕業うる　李下
白〳〵とく咲うれ〳〵のうるおど　春蓑

麻苗　稚苗

麻苗やくるぶしてうるふ行せ　法玉
麻苗や根目細うれ畝化　北人
あ稚やうくうく苗うれ村の中　茶之雪
稚苗や屠麻まるる乃人　風妖

榻落

榻落うく鼻よりうる　柳波
苗とる八色とうえあま榻落　雅人

山くらの木陰の飯をすすきまき　太祇

烏芋

桂子と咲もうす赤き花佐保　鞭石

寿のうす紫ぬるや夏草の陰　鳥狀

天花菜　篤信

ひとうや草とつゝむ白菜　蕪子安

芝原や柿つゝめる花ぶく　帆角

川魚や茅ぶくらきくの小鮒　篤夏

白菜ぶくらきくハ小鮒　白波

防風

防風やあらくまきの茅ぶき　他良

ゐか本

さゝやきくゐかもよ念仏か　一可癸

茅ぶきよつゝゝやきくゐかもぶ　几董

ゐかもの垣陰ゝ酒ぬくもり　蕪青

蓴根掘

伏見ゝゝ丹うゝゝ蓴根ほり　孤人

山蕎

篠ゝ山蕎ゝと穿出根か　麿郎

つゝゝ有ゝ俗なりゝゝゝ矢幸き　太祇

岩蔦ふるもの自くふる山茶花　丈波

虎杖

いくとしやホ信乃志ゝ　発人

遠霞ゆ　幾ゝ久しや　虎杖　里湖

草芽

うゝ志ゝ花ゝ芽ゝ出ゝ　仙霧

芽しき芽乃ホ芽ゝ　文鳴

蚍ゝ芽葉

志ゝ志ゝ乃ゝ芽ゝ　定武

春ゝ社師や志きゝ芽の袖ゝ月　春山

芽ゝ乃ゝ媚ゝ遠ゝ芽ゝ　古茅盛

菊し芽葉　芽ゝし芽葉

紅葉乃ゝ志ゝ菊の紅葉ゝ　風狂

紅ゝ志ゝ芽ゝ芽ゝ芽ゝ　発人

芽紫

芽ゝ芽ゝや師乃紫ゝ芽ゝ月　南茅

芽ゝ芽ゝ芽ゝ芽ゝ志ゝ紫の白ゝ芽ゝ　嘯雲

紫ゝ芽ゝ芽ゝ芽ゝ芽ゝ　古祇

蕨

[illegible]　嘯雲
右左しまぬてしのまえぶ　乙人
行摩社ワしてき寿の厳うる　由之
小松野のうしろ葉摩よ成きて　几董
芽まれ花ふるまるしてしいるる　古祇
物芽成まきうきくもうふ蔵成　杜栗

芦と角　茅とし落

和しきしあうくもうくの茅の雁　涼秀
何しまの芽よ摩の古屋なりうや　嘯雲
新田乃侍よ久しや芦乃角　鳴風

蒲公英

多んぽうやたうとうまきまぬ玉蔵　多仙
田螺鳴敵乃たんぽうまほきぬ　嘯雲

茅と花

あまれまやうれしもやとの松れ折り　丶
茅のうれるもんあきた和河内ぶ　茅舎
なりまやけあうとう大内麦　百波
茅乃あやあ皆ものするふ塚の神　稲牛
ふのうすまれ一く四月きぶ　五来
茅花や茅野下くふもうう山　古祇

葉月や月六条寺の八四寺　芭蕉村
あのもの形や拉女もりの袋　宗旦
なをもはもの海もの海もの蛭もの　里仙
葉乃面や面乃もの面乃もの初乃　凡坊
葉やもの面やいの乃の乃当拉乃　李盍

大根もの芯

葉乃面もの葉もの芯もの大根ば　竹月
大根の芯もの芯もの芯もの芯乃よきうもの　一有

蕪

そのくや妻逆うの拉鬼あさみ　拉坊

春の五十八

彦乃もの芯もの芯もの利もの芯もの　蕪乃
利柿もの芯もの芯もの芯もの芯もの　青牛

菖

枝形女拉夕なくさ芯や菖　畑　惟然
菖畑柿乃酒乃芯乃芯乃芯乃　去祇

海棠

和田乃海乃海乃棠定乃海乃棠　菊明
あまもの芯乃波形もの海もの棠乃　一有

桃李

桃乃拉乃拉乃拉乃桃乃桃乃　言秀

夕ぎりの　あらき宮やいうのたり　才磨
切れ中ゆふなき浦ゝの夕ぐれ　蕉雨
切てすゝふんとなきやいうけちを　嘯雪
羽織なくて新のるとゝ秋書　宗文
れ中買くるんそしれ面てき　石波
蕎ゝふ夕乃清やいうのちを　志賀
能乃ゝうなくもの第ふいうけり　孔董
切れ中みゝゝゝゝゝゝ　眉山
きれ乃ゝ赤れ松山ゝ面ふか　志蕉

蕎麦

角俤や花と紅あふ蕎ふ仕ふ　田平
蕎ゝふ小角ゝゝゝ森の秋　仙露
角蕎ゝ赤ゝの秋しや意の地　樗良

春雨

ゝゝゝゝ　蕉雨
ゝゝれのゝ面行秋ゝとゝあゝゝ　嘯雪
蕎面や蕎れんゝゝゝゝゝ　蕉村
けゝふ面やゝゝゝゝゝゝ　孔董
ゝゝ面やゝ紙布ゝゝゝゝ面　石波
懸乃蕎ゝ面ゝ山ゝのあゝ　移竹

[illegible]　　左衛
[illegible]　　宗長
[illegible]　　樗良
[illegible]　　巴静
[illegible]　　烏明

三月

泳生

[illegible]　　信徳
[illegible]　　西武

乙しの桜

[illegible]　　維舟
源氏[illegible]　　左蓋

須磨桜

[illegible]　　佐元

桃花節　　雛

[illegible]　　朱山
[illegible]　　嘯春
[illegible]　　寸之女
[illegible]　　縹緑

首塚乃邦ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]
有常ハ[illegible]
[illegible]
つ[illegible]

曲水宴

[illegible]
梅花[illegible]
[illegible]

[illegible] 乃[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]

油花ト

[illegible]
油花ト[illegible]
[illegible]

青梅譜

青き[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

沖然と小斗よりたちまち
高く招く北斗七星　然ぐ　風成
四星乃時うつるふく法然ぐ　宗長

藥師寺寒鐘會

遠鐘の音花ふめり志と寒鐘会　鞭石

寒食　杏し粥　青麩飯

寒食や飢を訓ふる一人位　百波
寒食の日を断食の日を歎　子角
寒食やうたふ尚ふ佛一ち　立吟
相柳　氏ぐまやうま茅舎ぐ　嵐雪

寒食に於ふ人はまたまた一両陣　久利
寒食や一日富ふあふふ猫乃鼻　和及
うんきまを出ふもぬかぬをけ　左袴

落花祭

落花乃ふ神成新ふや志川の水　蕉求
落花京ふ七ッ乃出口ふ　伊徳

榆柳の芽を落ふ

榆柳乃芽こうれふ綻ふ好　李葉
榆柳乃芽を成乃落ふ　定去

小弓會

[illegible]　矢兼
小弓響[illegible]人　嘉む野末哉　在人

在吉汐干

[illegible]川も[illegible]汐干哉　治泊
人[illegible]む丹と[illegible]　友重
汐干[illegible]　嵐雪
[illegible]の[illegible]　来山
[illegible]　言水
[illegible]　嘯雪
[illegible]　椋良

[illegible]汐干哉　古祇
汐干[illegible]　[illegible]角
[illegible]　移竹
[illegible]　由平

鶉合

鶉[illegible]目もくらむ[illegible]　嘯雪
鶉[illegible]　石波
[illegible]　[illegible]閑
白鶏[illegible]　[illegible]角

古住清硯石原

延年寺や見よう〳〵ふる硯〳〵を　鶴鄙

おくの海ちそうや後世の硯石　夕翁

西ち乃終をとうきちやさゝらを　野坡

石山系

ちゝはゝ代はゝ代さゝき石山系ふる茂　未延

雲母系

時雨ちさゝ〳〵雲母の系ふる　本山

一系ち系

村人の見物ちやゝ祇園一　風快

泉涌寺石山忌

祇園の塔弁一乃世ゝふる石山忌　平馨

水尾系

ちの尾乃ふるよりまた苔庵り　當角

高雄住義令　安良井系

又覚り漢紙ゝ〳〵ちゝ系　鞍石

住義令やゝちゝも泊を雄山　風快

安ち井乃苔ゝふまゝふる函丹乳子　嘯月

安〳〵井や鬼もゝゝ乳ふる茶碗　乳菫

やすゝ井やゝ乳ゝかゝ〳〵乳ゝふる　平成

安良井乃鬼や孫ゝ八海ゝ　春蓋

吉野會式

乞食行者集る會式の郎　獨名
法師菩提の師の会式　元親
禮拜講
礼拝講　清きふうき三千坊　友之
祇園二切經會
一切經　仏の様姿　元親
法良寺
雪ふるく寺もふかし法良の山　法元
壬生念仏　縄法　面白

山ふきやいとくめてる壬生念仏　石波
野ゆかつるを山ふかつるめ壬生念仏　樗良
植ゆるなれ植ゆるなれ人ぐ　なを孟
人九忘
野山の岩根を清し春月高　春月
不見のやり月を秘乃人九忘　石波
勅学會
ものしにと嘯ゆるぬ勅学會　正如
春ゆかるかるる花もくるる勅学会　やま
多本念佛

[illegible]

清草祭　きよらやすらぎ　清雪

御身拭　[illegible]乃肩ぬくたやすらぎ拭　几董

[illegible]乃[illegible]かきくやはらみ拭　右衛

[illegible]優[illegible]美もくくやはらみ拭　石波

御新供

御新供やくくすらぎ生朱雀　右衛

小面乃御書かくこう[illegible]新供　石波

稲荷御出

[illegible]　五様

[illegible]　右芭蕉

[illegible]　二月坊

田植作[illegible]　[illegible]

[illegible]　涼宇

[illegible]　几董

蓮生初[illegible]

[illegible]　夢[illegible]

[illegible]

永きは　暮てきは

[illegible]　蕪村

[illegible]　白波

[illegible]　几董

[illegible]　蕪村

夏ときき　夏待

つき[illegible]　依唯

[illegible]　芦洲

春　春

[illegible]　蕪村

[illegible]　白波

[illegible]　几董

[illegible]　嘯岳

[illegible]　蕪村

[illegible]　青蘿

[illegible]　金子龍

酒[illegible]　稲竹

[illegible]　樗良
三井ちく[illegible]　常角
引[illegible]やんのこゝろ[illegible]　左草庵

燈寒

燈ゆゑ[illegible]や玄の機嫌の俤　左樵
炉寒く[illegible]ふ[illegible]移りきて　几董
[illegible]く燈ふきくゝもこゝぬし　石波
燈ふきゝやゝ庫ハ狂ゝ掛きる　苔村

時雨巣　鷹巣

[illegible]巣ゝ[illegible]ゝ[illegible]ほゝきん　安彫

時雨巣や井戸伝ひの角樽　仙鶴
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ

春之部

何とまつ人くいつかくさてと春ふ所を　仙蓬
無まくくさていふ所を帰る　ちよ女

春しつ

しるかきくく書と解まとめ藤家　仙卜
春の春ふ所を春ふ乃藤うる　風状

上り藥

さくを神くく奥花きくさてよりて藥　友之
所ふ拾ふくとの拾ひやとる藥　也子

春部　六十九

春部

橫貝

海ふ中ふ風ふきよりくさくさて貝　田川
波乃ふ中ふくとぬりとたり橫貝　採芹

橫奥

ふ中ふ花ふ信や小くとて橫ふを　文峰
さくさて組

きふ何すや堺のうらさくく組　田丸

柳葉奥

柳とさて花多川葉奥ぶ　五如

素桃

[illegible]　素子
人よ踏　[illegible]　嘯雲
沿　[illegible]　石波
我　[illegible]　素文

桃

百姓乃業の濃　[illegible]　沿泊
[illegible]　鬼毋
商人と呼ふ　[illegible]　夢村
四五人の桃　[illegible]　嘯雲

[illegible]　素子
家五軒村の　[illegible]　素子
夕栄や桃　[illegible]　稿作
[illegible]　石波
[illegible]　[illegible]
[illegible]　春陶
桜　[illegible]　[illegible]
自　[illegible]　[illegible]泉
か　[illegible]　[illegible]

山桜

[illegible]も聞えて山さくら　九條
四方のうぐひすや山さくら　空業
冬ごもり春のこゝろ山櫻　池雪
雪の中松のこゝろ山さくら　稙弁
むらさきの雲とくすきの山櫻　石波
幾賀くみるや芳野の山さくら　芽村
閑居にてうぐひす山さくら　几董
りんかう牛のゑ野の山さくら　鬼貫
かしらもしらず杖とゝる鞋と山櫻　嘯雪

家櫻　庭櫻

[illegible]　友元

櫻　櫻人

[illegible]　宋文
[illegible]　英志
[illegible]　稙良
[illegible]　嘯雪
[illegible]　野坡
[illegible]　可雪
[illegible]　去來

[illegible]　　奥童
[illegible]　　池之
[illegible]　　玉渕
[illegible]　　竜文
[illegible]　　左蓋
[illegible]　　几董

花

[illegible]　　鬼貫
[illegible]　　蕪村
[illegible]　　東山

[illegible]　　蕪村
[illegible]　　宋文
[illegible]　　樗良
[illegible]　　嘯雲
[illegible]　　几董
[illegible]　　吉薬
[illegible]　　召波
[illegible]　　大雅
[illegible]　　書觀
[illegible]　　三十

[illegible]　本丸　吳明
[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]

連樹

ほりかくと咲たりまさもぬ連樹　嘯壺
[illegible]　[illegible]　大根
[illegible]　[illegible]　几董
[illegible]　[illegible]　山棘
[illegible]　[illegible]　石波

花鳥

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

和海藻

[illegible]　[illegible]　彩生
[illegible]　[illegible]　石波
[illegible]　[illegible]　篇雅
[illegible]　[illegible]　[illegible]六

難題

[illegible]　[illegible]　[illegible]

蓮懸

別霜　春し裏

小鮎　多鯉

あさはのやまとなでしこ　儿董
ときはなるこのもとに　移竹
はるのかすみ　隨古
山ぢや　桂　蓮伏

海棠花

海棠や　ねむたそうな　夢左
海棠や　うつくしい　一角
海棠や　戸さしまゐる　宗文
美女　美人　詩　口　海棠花　金下

春ノ七十五

夕　梅車
相　文雅
非　左我

躑躅

躑躅の　夕　夢左
夕山　根　宗文
つゝじ　敵　石彼
紅　山　秋化
躑躅野や　何　芦村
雪　山　儿董

歌仙

山ふきや孫とも落て乃新　宗文
山もけり八ツ山吹のなりそめて　嘯柔
多紙して山吹あるかつらぶ　樗良
山ふきや朝り雨まふ苔ろ　蕪村
やまふきの苔やるまるぬ旅の径　召波
山吹や　如雨　歩波　儿董
山吹や井出の流るかんふ屑　蕪村
山ふきや苔ふる苔に苔ひ葉ま　太祇
山吹や折して湯まく渕乃上　東山

山吹乃色ふ名ぬ深ふ　此く
山ふきや苔やふ後く多年　汀竜
山吹や秋の蕎ふ縋しきま　文鱗
百ふ物憂中ふ樹ふ[illegible]ふ絵ぶ　移竹
山吹や　掘　岸なふ人ふ雑　竹や
砂　原ふ山吹　咲ふ　丈自ま　阿ふ

本庇花

阿ふ[illegible]庵ふ[illegible]ゆふや本庇の花　狗毫
春の師や本庇八延乃家阿ふ　荷兮
夕茅やつまれき本庇の咲ま　多奴

通草の花　素行

口なしの花咲通草の実　之成

二日月舟もてくるうらまちしぶ

杏の花　蕪村

馬くれ聲高の彩雲乃杏哉

穆移の花　蕪村

一時の雨ふまするるのさくらぶ　之圃

菊の目覚うきくんこもすがら　素行

沉丁花

沉丁花ちる内江戸乃月こそ　蕪村

沉丁花　大魯

赤南花　緋桃

塀際の根もとに菜よりこぼれて南花　麦水

早くも咲きぬき書て紙さくらの蕚　希因

木蓮花

木くらくらふるる佛ゝ木蓮花　涼常

手反古もて傍の渇えの木蓮花　雅因

小茶花

新田もてる入を咲くも小茶花　四山

秋もて茶うるをもり小こるんさる　玉緒

小まつな

こてまりや娘梅ちる豆腐茶屋　角上

玉菊花

のこしたるふるさとの春　依唯

馬酔木花

径あるこの方ゑる酔木咲て馬ぬ冒　麦水

年九月古さとのむかさほ　西鶴

林檎し花

紙ゑ梅　庵牛かくもやさとこんこ　九董

中京ぬよるハ今ゑ花ゑんこ　蓑山

樓の花

玉川ぬ毒ゑさうしたる樓　涼宇

奥ノ院みちハ樓のさうぶ　仙鶴

梅し花

合あとのさうきたり梅の花　五城

年玉茶ゑ古ひさうぶ梅の花　一茶

楊梅し花

やまくくとくまもり本ゑ去　雅因

梅紅や京くもてゑ村ゑ戸　春葉

春し花

[illegible]　[illegible]

今法　[illegible]

[illegible]の二人[illegible]　嵐山

[illegible]　[illegible]　[illegible]　

淡雪乃ふる中に茎立て　うの花
布引の水のあらわれ　みなせ
捨てしてすゝれの中に　古井戸　猶化

母子草

住なれて　母子草　彩やくこゝろ　生涯
母子草　野辺の　摘こゝ　路通

新菜　菜摘

世に住の門ゝを春の　菜摘　古祇
つゝしてハ　ふる　菜摘　宗文
青ゝや　遠く　菜摘　白し　宗左

やゝけ　遠く　菜摘　一ツ
負ゝ　ふる　菜摘　せる吹
つゝ　ふる　菜摘　其角

摘

摘　葉摘　摘　初雪　宗文
摘　摘　摘　摘　嘯雪
雨乃　月ゝ　嘯　摘　椎海

青菊　青菊

青菊や　刺　渕　清の　門　方山
青菊や　刺　渕　清の　門　佐元
青菊　橋　脈乃　中ゝ　カ　脈

高麗菊　牡丹

辻ぜんそう　雞頭

横草　ノ文

母文乃あれとしやさらく草　當角

桂木屋のそくそくれうさらく子

化俗草　次五

藪柳子　御ぞのほふ子ゆ

金魚草

珍揚枠子　竹子

蕎麦子

きまんそう　後屏

芥子乃花乃ようなそうこう蕎麦子　千山

丁子草

芍けし　角上

眉根草

まゆそきもみのようの野角ようの面　書林

鈴乃蕎化粧草　月案

仙蕎草　友山

咲そう過ぬ仙蕎草乃二くさ絨

蕎麦うゆ

柾うゑふるまもなく蔓の札　雅因

二之葉芹

胡味噌もんを使ふとこの葉芹　汶文

二月菜

形ばかり嘉祝もなり二月菜　友山

二月大根

野も畑も知らぬ色なる大根哉　扶桑

金時花

金時花夕ゆふ暮の暮れ　百置

雉子草花

うりふきやゆゑ押ふみ川の縁　岩笑

杓背

ちんきん乃蔓よ搦ふみ蕨哉　嵐雪

芋蔓

芋蔓の絡ふふるさと哉　巴人

さゝ〻衣

さゝ〻衣掛ぬ人なし法生山　仁松

山吹衣

山ふきよこうもりまうの妹の垣　召波

芋命義頂の山ふきよ衣哉　如矢

拾遺

女とふ女と春乃月　蜀山
春ゑんくやきんきん町と旅の人　嵐月
入お乃ゑ由こうがと春乃海　杜桂
ちくくすきー春きも春愛　鉢六

俳諧發句題林集春之部終